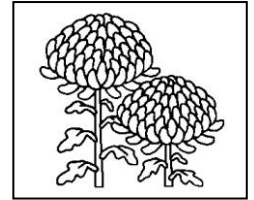


2014 年秋号

ぷらう 51号



発行：TEACCH プログラム研究会

＜会長のつぶやき＞ ウイング先生とショプラー先生のこと

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

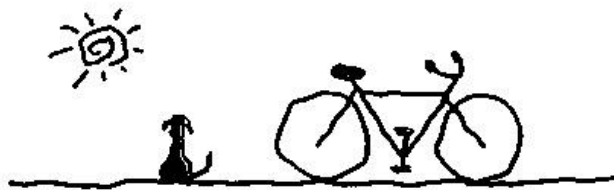
ローナ・ウイング先生が6月6日に亡くなられた。85歳であった。ウイング先生のご存知のことと思う。英国自閉症協会を設立し、アスペルガー症候群と自閉症スペクトラムの概念を提唱された。お子さんのスーザン・ウイングさんが重度の自閉症であった。

スージーさんは1956年生まれで、スージーさんが自閉症と診断されたことでウイング先生の興味は自閉症に移っていき1962年に全英自閉症協会を仲間と一緒に設立した。ウイング先生はしばしば「自然はクリアな境界をつくらない、子どもをみる時は、個々の子どもをみななければならない」と仰っていた。自閉症やアスペルガー症候群という診断は重要だが、診断のみでは支援が始まらない。子どもや家族のさまざまな情報があって支援が始まる。ウイング先生が作られた構造化面接であるDISCO (Diagnostic Interview for Social and Communication Disorders)は診断に必要な項目以外にも非常に多くのことについて聞いていく。したがって、時間も3時間も4時間もかかる。多くの専門家が診断に必要な項目だけにしぼれば、もっと時間が節約できるし、もっと多くの人が使えるようになるかと要望したが、ウイング先生は、診断だけでなく、個々の子どものことを知るためには多くのことを知らなければならないと仰って、短縮版は作らなかった。

ショプラー先生とウイング先生は論争をされたこともある。ウイング先生が提唱されたアスペルガー症候群や自閉症スペクトラム概念については、ショプラー先生は批判的であった。私はTEACCHに留学した3年後にウイング先生がTEACCHにどのような考えを持っているかが気になりつつローナ・ウイングセンターに留学した。実際に診療の場面でウイング先生が親御さんに勧められていたのはTEACCHであったので、ホッとしました。

ショプラー先生も個別のアセスメントを重視されていた。ウイング先生とショプラー先生は細かい点では意見の違うこともあったし、お二人とも自閉症の診断と個別のアセスメントを重視されるという点、個々の子どもと家族にあったオーダーメイドの支援を強調されていたのは同じだった。

ウイング先生の訃報に接して色々なことが思い出された。



平成26年度 第2回理事会報告

平成26年度第2回理事会は、6月15日(日)10:00-14:00 京都メルパルクにおいて行われました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

参加理事:宇山、村松、諏訪、中村、黒田、中井、木崎(代笠合)、小川、三谷、丸田、森田(隆)、森田(礼)、西村、内田、入井、三ヶ田、下田、五味、原崎(会計)

議案1. コラボレーションセミナーについて

① コラボレーションセミナー2014 in 京都 報告

開催日時:H26年2月14日(土)、15日(日) 会場:京都染織会館シルクホール

テーマ:「自閉症スペクトラムの人たちの性～セクシャリティ～について」

講師:マリー・バーガンディン博士

(ノースカロライナ大学教授・チャペルヒル TEACCH センター所長)

アンケート集計結果、会計報告について、丸田理事より報告され承認された。

② 2016年コラボセミナーについて

村松常任理事より、開催時期は、2月～3月を予定したいと提案があり、どのようなテーマが良いか、各支部理事から意見をいただいた。

議案2. 平成26年度前期の会費の納入状況、TEACCH研の会計状況について

事務局より以下について報告があった。

① 平成26年度前期の会費の納入状況について

今年度より年会費の納入にコンビニ払いもできるシステムにしたが、前期(1月～3月31日)の会費の納入者数は、昨年度よりも少なかった。

② TEACCH研の会計状況について

平成22年度からの会費収入を見直したところ、会員数はやや減少傾向にあり、会費収入も毎年20万円程度ずつの減収となっている。会費の減収がそのまま続き、支出がこれまでと同額程度と予測すると、一般会計・特別会計ともに、平成29年度には赤字になる。そのため、今後経費節減や増収対策等を検討する必要がある。

議案3. 実践研究大会2015 in 大阪について

森田(隆)理事より、予算(案)と企画案が提出され検討を行った。

開催日時:平成27年3月7日(土)13:00～8日(日)12:30

大会テーマ「あらためて自閉症支援について考える」(仮称)

・当初の予定の天満研修センターで開催した場合、TEACCH研特別会計からの補填が例年の2倍近く必要となる見込みのため、再度、会場・参加費等について、実行委員会で検討することになった。→その後実行委員会で検討の結果、会場を山西福祉記念会館に変更することを総務委員会で承認された。

・実践報告者の支部からの推薦を募集する。(平成26年8月末日までに)

議案4. 平成26年度支部助成金の交付について

事務局より以下について報告があった。

・今年度の支部の助成金事業について、5支部(神奈川、滋賀、鳥取、大分、熊本)から合計117万円の希望額の申請があった。交付額を総務委員会で検討した結果、「助成金の初回交付の鳥取支部のみ希望の満額(22万円)を交付、他の4支部は希望の半額を交付する」ことに決定した。(交付額合計:69.5万円)

・平成25年度支部助成金事業実施追加報告が、佐賀支部(13.4万円)より、総務委員会に提出され、承認された。

議案5. 会費未納者・退会等についての名簿との関係について

会費未納者の名簿上の扱い、退会の時期、支部を通しての会費の請求の方法等について話し合った。

*理事会の翌日(6月16日)理事会での検討内容を踏まえ、土倉事務所と以下のことを確認した。

・これまで同様、1年間会費を未納の会員は名簿上は停止となる。2年未納で退会とする。

・会費振込先を印刷済みの郵便振り込み用紙を各支部に配布する。支部から研修会の際に入会希望

者・会費未納者へ渡し、会費の納入を促すことができる。支部で、入会金・会費等を預かり、振り込むこともできる。

議案6. 活動年度の開始時期の切り替えについて

- ・「活動年度の開始時期を4月に切り替える」ことについて各支部での検討結果を集約したところ、切り替え賛成・反対ともに同数であった。そのため、総務委員会で「活動年度の切り替えを行うのか、また切り替えの際に変更が必要となる事項について」を検討し理事会へ提案することにした。

議案7. 「ぶらう」について

- ・西村理事より「ぶらう春号」の各支部の活動計画の様式を統一して掲載することについて提案があり、承認された。
- ・西村理事より「ぶらう51号」について、記事の分担と発行のスケジュールについて提案され確認された。

議案8. 新支部設立内規(運営細則)について

- ・「実践研究大会及びコラボレーションセミナーの運営について」「新支部設立について」の内規が成立した。

議案9. トレーニングセミナーの開催について

- ・諏訪常任理事より、TEACCH部よりトレーナーを招聘して開催する場合の費用等について情報提供があった。平成26年6月末にTEACCH部のクリンガー先生が来日する際にトレーニングセミナーの開催について相談する。それを踏まえて、諏訪常任理事と三ヶ田理事で、内容、日程等のプランを検討して理事会へ提案することになった。

議案10. その他

- ① 次のTEACCHプログラム研究会事務局担当支部について
熊本支部が、成28年～30年を担当することを確認した。
- ② 次回(平成27年度第1回)理事会の日程
平成27年3月7日(土)10:00～13:00 会場:山西福祉記念会館 小会議室(大阪)
- ③ 平成27年度総会の日程
平成27年3月7日(土)17:15～ 会場:山西福祉記念会館

平成27年度総会のご案内

日時:平成27年3月7日(土)17:15～

場所:山西福祉記念会館(大阪)

みなさんの大事な会費執行状況や本部の活動について報告します。

ぜひご参加ください。



会費納入のお願い

会費の納入方法が、平成 26 年度から、ゆうちょ銀行と合わせて、お近くのコンビニエンスストアでも納入していただくことができるようになりました。

今年度の会費を、まだ納めていらっしゃらない方は、12 月までにお納めいただきますようお願いいたします。

ゆうちょ銀行の振り込み用紙は、各支部でも配布しております。また、各支部の研修会等の際に、支部に振り込みを依頼することもできます。

(その際に振り込み手数料が必要になることもあります)

また、平成 27 年度の会費の請求書は、12 月中に発送予定です。早めの納入をよろしくお願いたします。

TEACCH プログラム研究会事務局



ホームページについてのお知らせ

ホームページに TEACCH 研の会報誌「ぷらう」のバックナンバーを 1 号からアップいたしました。皆様、読んでいただけましたでしょうか？

TEACCH 研が 1989 年に発足し、25 年の月日が経ちました。そんな TEACCH 研の歴史を「ぷらう」で知ることが出来ます。

「まだ読んでない！」という方は是非ともお時間のある時に読んでみてくださいね。

27 年 3 月に行われる実践研究大会IN大阪の案内をアップしますので、ご覧いただき、ご参加いただけたらと思います。

会員ページへは、ENTERをクリックした後、アクセス認証画面に下記英数文字を入力し、アクセスしてください

(平成 26 年 11 月 11 日より有効)

USER ID autism
PASSWORD wo6qtd

第 12 回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会 in 大阪 2015

1. 日 程 平成 27 年 3 月 7 日(土)13:00 ~8 日(日)12:30
2. 会 場 山西福祉記念会館
(JR 大阪駅から徒歩約 15 分、地下鉄堺筋線扇町駅から徒歩約 5 分)
3. 大会テーマ 「あらためて自閉症支援について考える(仮題)」
4. 参加予定人数 150 名
5. スケジュールと内容(予定)
 - 3 月 7 日(土)
 - 12:00 受付
 - 13:00 開会式
 - 13:15 記念講演「自閉症の今～脳科学からみた支援のあり方～」
講師 十一 元三 先生(京都大学大学院教授)
 - 16:00 大阪支部事例報告
 - 17:00 終了
 - 17:15 総会
 - 18:15 親睦会
 - 3 月 8 日(日)
 - 09:00 受付
 - 09:30 分科会(実践報告)
 - ① 幼児期 ② 成人期
 - 10:45 分科会(実践報告)
 - ① 学齢期 ② 成人期
 - 12:10 閉会式
6. 参加費
 - 実践研究大会参加費 6,000 円(会員)
 - 懇親会 6,500 円

申込用紙は、11 月末頃をめどに会員の皆様へ支部を通して送らせて頂きます

